

2021年12月22日

京成電鉄株式会社

さらなる輸送の安全確保のために 「異常時総合訓練」を実施しました

自然災害を原因とする脱線事故を想定した対応および 粗暴犯対応講習を実施

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、2021年12月22日(水)に京成電鉄 宗吾車両基地(千葉県酒々井町)において「異常時総合訓練」を実施します。

これは、12月10日(金)から始まった「年末年始輸送安全総点検」の一環として実施するものです。多くのお客様がご利用になる年末年始に合わせて、重大事故発生時に安全を確保するための対応力・技術力の向上を図ることを目的として、毎年この時期に実施しています。

今回は、自然災害を原因とする脱線事故の想定のもと、脱線事故からの復旧および避難誘導の一連の流れを実施する訓練と、昨今続発している列車内傷害事案に対する職員の意識・対応力向上を目的とした、千葉県警察本部協力のもと実施する講習および実技訓練との二部構成で実施しました。

本件の概要は、次頁の通りです。



訓練の様子(左:脱線復旧作業 右:粗暴犯対応講習)

異常時総合訓練の実施について

1. 日 時 2021年12月22日(水) 9時00分～12時30分
2. 場 所 京成電鉄 宗吾車両基地
【所在地】千葉県印旛郡酒々井町下岩橋字桐ノ木582-1
3. 参加者 京成電鉄社員、協力会社社員、千葉県警本部、
日本盲導犬協会 等 合計174名
4. 訓練概要 (1)自然災害を原因とする脱線事故の対応訓練
【想定】
①猛烈な台風の通過翌日に、軌道付近の法面が崩落し軌道内に土砂が流入。走行中の列車が土砂に乗り上げ脱線。乗客1名に急病人が発生。視覚障がい者2名※が乗車。 ※日本盲導犬協力
②脱線の影響により、付近の信号機および軌道が損壊。
③①・②と並行して、別区間にて倒竹が発生。
【内容】
①災害対策本部(※)・現地対策本部の設置と関係各所との連携
②災害現場2か所と対策本部との情報伝達
③列車防護、連絡通報、旅客の誘導案内
④事故現場における復旧作業
※車両基地事務所内への設置のため、ご取材・ご撮影はできません。
- (2)列車内傷害事案(粗暴犯)への対応訓練
講師:千葉県警 鉄道警察隊
基本内容:粗暴犯から身を守る訓練
①防刃手袋や車両搭載盾(当社装備品)といった、各種ツールの
使用方法と護身術の説明講習
②実際の車両内の環境において、盾の使用した実技訓練

以 上